

令和3年5月27日
鳥山総合支所
危機管理部

オウム真理教問題対策（状況）について

1 現地の状況

信者の居住状況について、関係機関からの情報では、GSハイム鳥山（南鳥山6-30-19）に「ひかりの輪」信者5名程度が居住している模様である。

2 鳥山地域オウム真理教対策住民協議会の活動状況

この間の緊急事態宣言の発出等により、例年4月、5月に実施しているリサイクルバザー、抗議デモ・学習会の事業を中止とした。また、令和3年度住民協議会総会については、資料一式を会員全員に送付し、承認をもらう方式とした。一方で、地域住民による現地の監視活動は継続して行っている。

なお、令和2年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、リサイクルバザーや抗議デモ・学習会など、例年多くの参加者、来場者がある事業を中止としたが、本年1月末が期限であった団体規制法に基づく観察処分に対しては、更新を求める国への要請行動を行い、1月6日、更新が決定されている。